

滋賀大学経済学部創立80周年記念

滋賀大学大学院経済学研究科博士後期課程経済経営リスク専攻発足記念

滋賀大学リスク研究センター設立記念国際シンポジウム

“グローバル時代のリスク管理”

記念講演、パネル・ディスカッション

佐々木 元 氏 (NEC代表取締役会長)

ダリル・ジャービス 博士 (シドニー大学国際リスク研究所長)

菊池哲郎 氏 (毎日新聞社論説委員長)

小栗誠治 教授 (滋賀大学副学長)

モデレーター:

小田野 純丸 教授 (滋賀大学リスク研究センター長)



日時: 2004年2月17日(火曜日)

受付開始: 12時30分

講演会開始: 13時

会場: 彦根プリンスホテル

(TEL0749-26-1111)



主催: 滋賀大学経済学部 共催: 滋賀大学経済学部創立80周年記念実行委員会

(出席御希望の方は滋賀大学経済学部総務係: 電話0749-27-1030までお申し込み下さい)



佐々木 元 氏

演題：グローバルな知の時代におけるリスクマネジメント

現職：NEC代表取締役会長

略歴：東京大学大学院修士（1961年）

日本電気株式会社入社（1961年）、集積回路事業部、超LSI開発、マイクロコンピュータ技術等の本部長を歴任の後、1988年に取締役支配人に就任。

業績：IEEE終身フェロー、米国工学アカデミー・アソシエート、電子情報通信学会功績賞
IEEEロバート・ノイス記念メダル受賞

ダリル・ジャービス 氏

演題：国際リスクの存在と認識の重要性

現職：シドニー大学経済ビジネス学部附属国際リスク研究所長

略歴：ブリティッシュ・コロンビア大学博士号（1995年）

ブリティッシュ・コロンビア大学国際関係学部併任教授を経て、1997年からシドニー大学経済ビジネス学部で教鞭。国際リスク研究所開設と同時に所長に就任。

業績：「アジア太平洋地域の国際ビジネスリスク」（ケンブリッジ大学出版）、「国際関係論—国際思考の多様化について」（ニューヨーク州立大学出版）など多数。豪州のメディアを通じて評論活動でも活躍。

菊池 哲 郎 氏

演題：グローバル時代のアメリカリスク

現職：毎日新聞社論説委員長

略歴：東京大学法学部卒業（1971年）

毎日新聞社入社（1971年）、エコノミスト編集部、経済部、ロンドン特派員。経済部長、論説副委員長の後、2002年に論説委員長に就任。

業績：「イギリスの芝はなぜ青い」（日本評論社）、「日本には日本の経済がある」（カッパ新書）、「常識の壁」（中公新書）など多数。

小栗 誠 治 氏

演題：金融リスクと中央銀行の役割

現職：滋賀大学副学長、経済学部教授

略歴：一橋大学経済学部卒業（1971年）

日本銀行入行（1971年）、調査統計局、金融研究所、考査局、業務局等勤務を経て、1998年に滋賀大学に着任。2001年から副学長職に就任。

業績：「現代日本のセントラル・バンキング」（研究叢書）など多数。

小田野 純 丸 氏

モデレーター

現職：滋賀大学経済学部教授、リスク研究センター長

略歴：ワシントン大学博士号（1981年）

三菱総合研究所（1969年）、ワシントン大学国際関係学部助教授、国際大学準教授を経て、2000年に滋賀大学に着任。1980年代にインドネシア政府経済顧問を歴任。

業績：「カムバック」（プレジデント社）、「インドネシアの発展における日本経済の役割と貢献」（タイムズ出版）ほか。